

科目名：看護研究 (Nursing study) 履修年次/時期：3年次 後期 授業形態：講義・演習 担当教員：棚橋泰之（実務経験あり） 藤倉由美恵（実務経験あり） 横正奈緒美（実務経験あり）		必	1 単位 (45 時間)
学修目的	初学者のための看護研究の基礎を学び、問題発見、問題分析、問題探求、倫理的思考などの能力を高めることを目的とする。具体的な研究方法としてのケースレポート作成のプロセスを学修する。 CP3, 6に関連する 科目：KNz-301		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	◎
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。		○	
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	1. 看護研究の必要性と意義について理解する。 2. 看護研究の種類と特徴を述べることができる。 3. 人を対象にした研究倫理について理解できる。 4. 文献検索からリサーチエスチョンを設定するプロセスが理解できる。		
授業概要	看護研究の基本を学び、看護実践に関する諸問題を探求する必要性を理解する。論理的思考を育むとともに、研究の意義や倫理的配慮について学ぶ機会とする。		
評価方法	学習成果 課題①リサーチエスチョンの設定 25% 課題②文献レビュー 25% 課題③リサーチエスチョンの洗練 25% 課題④レポート 研究活動を通しての学び 25% フィードバックは講義で行う。		
予習・復習時間	【予習】 1.9 時間 【復習】 1.9 時間		
教科書	系統看護学講座 別巻 看護研究 第 1 版 医学書院		
参考書	山崎茂明他著：看護研究のための文献検索ガイド 第 4 班 日本看護協会出版会 黒田裕子著：黒田裕子の看護研究 Step by Step		
オフィスワーク連絡先	棚橋泰之 3 号館 3 階研究室 tanahashi@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします 藤倉由美恵 3 号館 3 階研究室		

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 () 限目	科目ガイダンス ①この授業で取り組む内容が理解できる。 ②リサーチクエスチョン案を考えることができる。 看護研究とは ①看護研究とは何かを理解できる。 ②看護における研究の必要性と意義について理解できる。 ③研究における倫理的配慮の原則を理解する。	[予習]看護研究とは何かの問いに答えられるよう自分の考えをもって授業に参加する。 [復習]自分が研究したい内容のキーワードを考える。教科書 A 看護研究とは何かを熟読する。 [キーワード]看護研究、研究の意義、研究倫理	講義 ○棚橋
2 () 限目	①看護研究のプロセスが理解できる。 ②研究論文にはさまざまなレベルがあることがわかる。 ③研究デザインとは何かを理解できる。 ④文献とその種類がわかる。 ⑤リサーチクエスチョンとは何かがわかる。 課題①リサーチクエスチョンの設定 提出： 書式：A4 版、10.5P、内容 step 1～3	[予習]教科書 B なぜ看護研究を学ぶのかを熟読する。 [復習]授業内容の復習を行う。リサーチクエスチョンとキーワードを考える [キーワード文献、]研究論文の種類、研究プロセス、研究デザイン	講義 ○棚橋
3 4 A 班 () B 班 ()	文献検索の方法と実際 ①文献検索方法がわかる。 ②文献検索し文献リストが作成できる。 ③文献を入手する。 文献レビュー ①文献レビューとはがわかる。 ②文献レビューの目的がわかる。 ③文献レビューの方法を知る。 課題②文献レビュー 提出： 書式：A4 版	[予習]リサーチクエスチョンを設定し、演習に臨む。文献検索方法について調べる。 [復習]文献検索し、文献を得る。 [キーワード]研究論文の種類、研究倫理、研究者倫理、研究計画書、文献検索、文献レビュー、文献検索データベース、文献検索エンジン、クリティック	演習 ○棚橋 藤倉 横正
5 () 6 () 7 ()	学習プロセス・成果を他者に伝える ①自分が考えたリサーチクエスチョンを説明できる。 ②文献レビューの結果を他者に説明できる。 ③リサーチクエスチョンを精練できる。 課題③リサーチクエスチョンの洗練 提出： 書式：A4 版 10.5P ・資料に準じ作成する	[予習]課題を行い、助言してもらいたいことを考える。 [復習]指導結果をもとに修正する。 [キーワード]成果を伝える、リサーチクエスチョンの精練	演習 ○棚橋 藤倉 横正

8 () 限目	まとめ 学習成果発表 ①学習内容、取り組み、学びを明確にできる。 ②学習成果を他者と共有する。 課題④レポート テーマ：研究活動を通しての学び	[予習] 他者に伝えたい内容を整理しておく。リサーチクエスションの洗練を完成させておく自分の取り組みで得た学びを整理しておく。 [復習]他者からの学びを整理する。 [キーワード]研究活動で得た学びの共有、学習成果の共有・発表	グループ ワーク/ 発表会 ○棚橋 藤倉 横正
-------------	---	--	--